

情報提供

平成22年 7月 9日

件名 有 富 川 水 質 事 故 の 情 報 提 供

同 時 資 料 提 供 先

鳥取県政記者クラブ
鳥取市政記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

千代川水系水質汚濁防止連絡協議会

事務局 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所
占有調整課

電 話 : (0857) 22-8435 (代)

問合先 : 副 所 長 上橋 昇

占用調整課長 出尾 知之

有富川水質事故の情報提供

●状況 平成22年7月9日(金) 12時現在

平成22年7月7日(水)午前10時頃、鳥取市西今在家のゴルフ練習場の従業員が、貯油タンクの配管の破損と重油の流出を発見した。このため、溜っていた重油の回収を行ったが、約500リットル程度の重油が側溝から水路に流出したものと推測された。

水質事故は、貯油タンクからゴルフ施設に送る配管に落石があり、配管が損傷し、タンク内の重油が流出して発生し、ゴルフ場下流の水路から有富川に流出したものである。

●これまでの事故処理と今後の対応

国土交通省、鳥取県、鳥取市、消防局の関係機関により、事故処理対応及び下流への流出防止対応を実施した。

鳥取市は、水路に吸着マット約100枚を設置し、流出した油を回収した。

鳥取県は、有富川の西今在家3号樋門から西今在家橋にかけて4箇所オイルフェンスを設置し、オイルプロッター約300枚を使用して有富川に流出した油を回収した。

国交省は、油が千代川へ流出しないよう29号有富川橋上流付近へオイルフェンス(チューブ型油吸着材2本及び万国旗型吸着材4本)を設置している。

原因者は場内の水路に吸着マットを設置し油を回収した。また、場外への流出防止対策として油水分離施設を設置した。

これらの対策により、現時点では河川への重油流出は止まっている。
今後も関係機関と連携し監視を行っていく。



有富川水質事故対応位置図

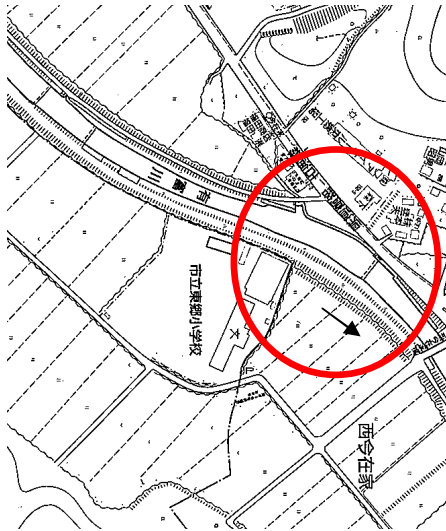
油流出対策状況

場所: 有富川・鳥取道交差附近

資材: 油吸着材(万国旗型) 6.5m×2本 13m×2本
油吸着材(チューブ型) 7m×1本 15m×1本



22年7月7日 有富川、今在家、今在家3号樋門上下流一重油の流出確認、オイルフェンス等の設置作業。
発生源は、グリーンゴルフ21から。



西今在家3号樋門



事業所内の油流出防止対策(原因者による対応)

油水分離施設



吸着マットによる油の回収

